

王安憶文学作品における上海語研究(8)

—『流逝』(その8)—

吉田陽子

『流逝』について(第8章71頁~83頁)

頁-行	下線の語彙—上海語 ローマ字—上海語の発音	説明 (文章の翻訳)、(共通語)
71頁2~4行 (以下「71-2~4」と略す)	梁阿姨说: 现在待业青年很多, 又有从外地回沪的青年要安排, <u>工厂间</u> 人手够了。 工厂间(gònzhāngài)	梁おばさんは、「今、待業青年 ¹ がとても多い上、他省から上海に戻ってきた青年も配属させなければならぬ為、下請工場の人手は足りなくなった」と言った。 工厂间: 下請工場。
71-10, 12	这孩子不知怎么, <u>土头土脑</u> 的, 姐姐叫她“ <u>阿乡</u> ”。 土头土脑(tūdhóetūnáo) 阿乡(ākxiàn)	(この子はどういうわけか、田舎者のようである為、お姉さんは、彼女のことを“田舎っぺ”と呼んでいる。) 土头土脑: 田舎者っぽい。土头土脑=〈很土〉 阿乡: 田舎っぺ。阿乡=〈乡下人〉
71-17, 18	家里事很多, 都在为文影的婚姻问题忙。如今, 有了一份数量可观的陪嫁的文影, 已不乏追求者了, 轮到文影 <u>挑挑拣拣</u> 。 挑挑拣拣(tiàotiàogāegāe)	(家にはやるべきことが多くて、どれも文影の婚姻の為に忙しくしている。いま、たいした額の嫁入り道具を持っている文影には、求愛する人はいくらでもいるので、文影の方が相手をよく選ぶ番となった。) 挑挑拣拣: よく選ぶこと。挑挑拣拣=〈挑挑选选〉
71-23	前几天, 端丽的一个 <u>小姊妹</u> 又为文影介绍了一个对象, …… 小姊妹(xiǎozīmé)	(数日前、端麗のある女友だちがまた文影に結婚相手を紹介してあげた。…) 小姊妹: 女友だち。小姊妹=〈女友〉
72-1, 2	文影很不开心, 似有些要犯病的样子, 家里人极担心, 想尽一切办法让她散心, <u>姆妈</u> 陪她去了一次苏州。 姆妈(m < I 声) mà)	(文影はすこぶる気が晴れず、病気が再発しそうで、家族はとても心配し、あらゆる方法を考えて彼女の憂いを晴らそうとした。義母は彼女に付き添って蘇州へ行って来た。) 姆妈: 母親。姆妈=〈妈妈〉
72-21, 22	“爹爹不是补偿你了? 给了你那么多, 我这个 <u>亲生囡</u> 也不过只比你多一半。”文影刻薄地说。 亲生囡(qìnsànnéu)	(「父がお姉さんにその分をお金で償ったのではないか。こんなに沢山あげて、実の娘のこの私でさえも、お姉さんより半分しか多くもらえなかった」と、文影は刻薄そうに言った。) 亲生囡: 実の娘。亲生囡=〈亲生女儿〉
73-3, 4	多多是任性惯了的, 一听气得火冒三丈, 一定要找 <u>小娘娘</u> 去讲清	(多多は甘やかされてわがままな子なので、お母さんの話を聞いてかっとなり、どうしても一番下の

¹ 仕事の配分を待っている青年。

	楚。端丽说过之后，气平了不少，倒反劝起女儿来：“算了算了，不和她一般见识。”多多不想算，找着机会把话说给 <u>娘娘</u> 听。 小娘娘(xiāoniānniān)	叔母さんに会って、是非を論じようとした。端麗は話をした後かなり気が静まり、かえって娘に、「もうよしにしましょう。叔母さんと同じような考えでいてはならない」となだめていた。ところが、多多はこのままに終らせたくなくて、チャンスを見つけて叔母さんに反撃の言葉を聞かせようとした。 小娘娘:一番下の叔母。小娘娘=〈小姑〉
73-9~11	多多听了妈妈的话，站住脚，大声说：“妈妈，你又要多管闲事，管了也不会落好的！要是你不管，人家现在做乡下媳妇， <u>多少有劲</u> ！” 多少有劲(dùsāoyhióejīn)	(多多は母親の話を聞いて、足を止めて大声で、「お母さん、また余計なことをしています。やっても感謝されることはない！世話してあげなかったら、いま叔母さんが農家の嫁となっています。そうになったらなんと面白いことでしょう！」と言った。) 多少有劲:何と面白い。多少有劲=〈多有意思〉
73-16~18	文影也 <u>忒气人</u> ，嫂嫂或是多多，每买一件东西，她知道了都要闹，闹过之后，总要得到一件同样的或不同样的东西才能解气。 忒气人(takqīnín)	(文影ときたら頭に来てしまう。義姉または多多が何か一つの物でも買ったのを知られてしまったら騒ぎ出すのだ。最後には、いつものように同じか、または同じでない物を手に入れた後やっとながすむのだ。) 忒气人:とても立腹させられる。 忒气人=〈太气人〉
74-10	端丽点点头笑道：“是啊， <u>吃饱饭了</u> ，又要想出花样来了。” 吃饱饭了=吃饱饭勒 (qǐkbāováelèk)	(端麗は少々なげきながら笑って、「そうですね。退屈でしょうがなくて、また何か新しい策略を思いついたようだね」と言った。) 吃饱饭了:退屈で仕方ないことの比喩。(よく、【吃饱饭勒既没事体做 qǐkbāováelèk m〈III声〉 mèkzhítizū】のように使われている。) 吃饱饭了=〈太无聊了〉
74-13~15	“ <u>发疯</u> ！”端丽想到他连炒鸡蛋都不会。 “我是觉得自己快要发疯了。我们活着，就只是为了活着。我们对谁都没有责任。”文光忽然变得忧郁起来。 发疯(fakfōn)	(「おかしいことを言うね！」と、端麗は義弟が卵炒めでさえも作れないことを思い出した。 「僕ももう少しで気がおかしくなると感じている。生きていることはただ生きる為であり、誰に対しても責任がない」と、文光は急に憂鬱になってきた。) 发疯:気がおかしくなる。 发疯=〈头脑有毛病〉
74-23	她吓了一跳：“请你不要 <u>寻我开心</u> 。” 寻开心(xhínkàexìn)	(彼女はびっくりして、「私をからかわないで下さい」と。) 寻开心:冗談を言ってからかう。 寻开心=〈开玩笑〉
75-19、20	多多完全能意识到自己的优越，索性不理 <u>小娘娘</u> ，不屑于和她拌嘴。 小娘娘(xiāoniānniān)	(多多は完全に自分の優越性を意識し、いっそのこと一番下の叔母さんを相手にせず、口論するのに値しないと思っていた。) 小娘娘:上記「73-3、4」に同じ。小娘娘=〈小姑〉

77-2~7	<p>“姆妈，‘四人帮’打倒有两年了，我们再去催催房管处，把楼下的房间要回来，可以做客餐厅。现在，爹爹、文耀的朋友都来往起来了，没有客餐厅不方便啊！”</p> <p>“这几天，你公公也在叨咕这桩事，不晓得能不能要回来呢，下面人家不知足得很，条件提得越来越高。也不想过去住的是草棚。”</p> <p>姆妈(m < I 声> mà) 不晓得=勿晓得(věkxiāodek) 桩(zàn)</p>	<p>(「お母様、“四人組”が追放されてからすでに2年が経ちます。住宅管理处へ催促してみても、1階の部屋を返してもらい、お客用のダイニング・ルームにすることができます。いま、お父様や文耀はお友だちとお付き合いするようになり、お客用のダイニング・ルームがないと不便ですね!」と。</p> <p>「ここ数日、主人もこのことについてぶつぶつ言っており、返してもらえるかどうかは分からない。1階に住んでいる人は、満足ということを知らないようで、退去条件を段々と上げている。何故、昔、わらぶき小屋に住んでいたことを思い出そうとしないのですか」と。)</p> <p>姆妈: 上記「72-1、2」に同じ。姆妈=〈妈妈〉 不晓得: 知らない。不晓得=〈不知道〉 桩: 事柄を数える助数詞。桩=〈件〉</p>
81-20、21	<p>他的小爱人，一个很清秀的女孩子白了他一眼：“<u>啥地方</u>来这么多<u>钞票</u>?”</p> <p>啥地方(sādhífàn) 钞票(cāopiào)</p>	<p>(彼の若奥さんと、あるとても秀麗な女の子が彼をあなどった眼差しで睨み付け、「どこでこんな大金が入ってくるの?」と言った。)</p> <p>啥地方: どこ。啥地方=〈哪里〉 钞票: お金。钞票=〈钱〉</p>
81-26~27	<p>到家了，一进门，阿姨就告诉她，<u>工场间</u>梁阿姨来过了，讨她的回话，请她无论如何要在这个星期决定了。</p> <p>工场间(gònzhángàe)</p>	<p>(家に着いて、門に入ったら、お手伝いさんがすぐ端麗に、下請工場の梁おばさんが奥様の返事を聞きに訪ねに来て、どうしても今週中に決めなければならないことを教えてあげた。)</p> <p>工场间: 上記「71-2~4」に同じ。</p>
82-17~83-2	<p>“好，好。”文耀答应着，“哎，阿姨，你去<u>工场间</u>，<u>讲</u>一声……”</p> <p>“不!”端丽叫了一声。</p> <p>“怎么?你还要去工作? <u>有福不享</u>。”</p> <p>……</p> <p>文耀真的恼了:“好了，不要吵了。阿姨你去<u>讲</u>，欧阳端丽明天就去上班。”</p> <p>“阿姨，我自己去<u>讲</u>。”端丽说。心里却有一点发虚，真要她明天就去上班，她能去吗?……</p> <p>她软弱地又说了一声:“明天我自己去<u>讲</u>。”</p> <p>工场间(gònzhángàe) 讲(gān) 有福不享=〈有福勿享〉 (yhióefokvēkxiān)</p>	<p>(「分かった、分かった」と、文耀が返事をして、「あの、おばさん!下請工場へ返事をしに行ってください。…」と。</p> <p>「いいえ!」と端麗は大声で言った。</p> <p>「なに?まだ仕事に行きたいですか?福があっても楽しめないものだ」と。…</p> <p>文耀は本当に怒り出した。「もういい。喧嘩をやめよう。おばさん、欧陽端麗は明日仕事に行くことを知らせに行ってくれないか」と言った。</p> <p>「おばさん、自分で言いに行ってくるわ」と、端麗は言った。だが、少し心細かった。もし本当に明日にでも仕事に出て欲しいと言われたら、行けるのでしょうか?…</p> <p>彼女はもう一度、「明日自分で話をしに行きます」と力なく言った。)</p> <p>工场间: 上記「71-2~4」に同じ。 讲: 話す。讲=〈说〉 有福不享: 福があっても楽しもうとしない。</p>

(完)

【参考資料】

「日本語」

榎本英雄／范晓 著『エクスプレス上海語』(白水社)1996年4月5日第6刷

宮田一郎 編著『上海語常用同音字典』光生館出版、昭和63年9月10日初版発行

「中文」

阮恒輝 著『上海話教程』上海辭書出版社、2014年8月

錢乃榮 編著『上海話大詞典』上海辭書出版社、2008年4月第5版

丁迪蒙 著『学説上海話』上海科技文献出版社、2015年1月第2版

【参考文献】

張新穎、金理 編『王安憶研究資料』(上)(下)天津人民出版社、1996年

「王安憶作品」

『海上繁華夢』王安憶自選集之一・中篇小説卷、作家出版社、1996年